

橋本 慧海¹, 柳楽 浩平², 水本 武志², 白松 俊¹ (¹名古屋工業大学, ²ハイラブル株式会社)

1. 背景

- ・就職活動競争の激化
→採用者にとって魅力的に見せるための演技を引き起こしている
- ・職場の理想と実態の乖離
→職務に対する不満やパフォーマンスの低下・キャリアへの悪影響
- ・自身の**本質的な価値観**を把握できていない
→持続可能なキャリアパス・職務満足度に重要

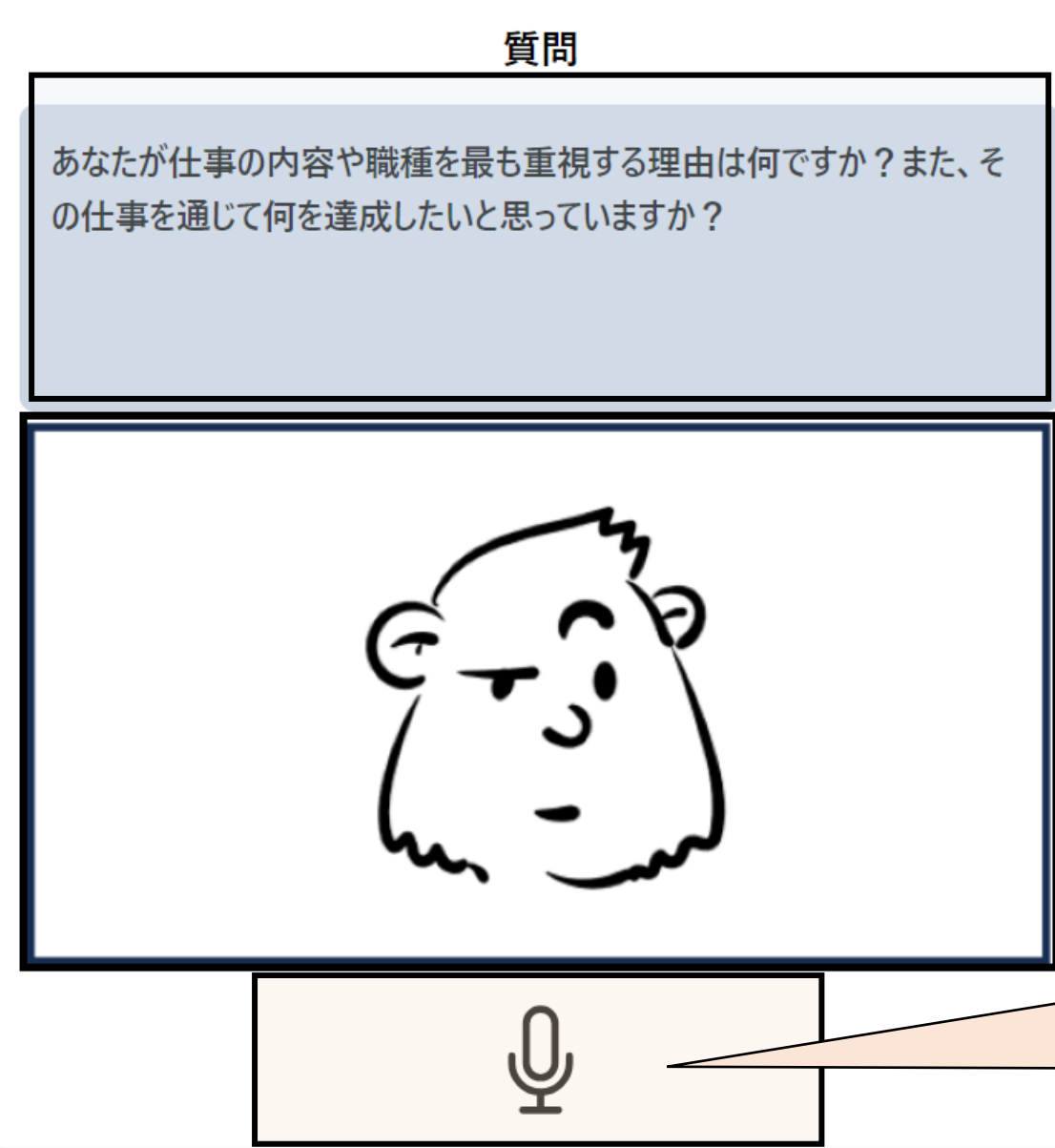
2. 実験・実際のUI

被験者：就活生12名（理系学生）

評価項目：被験者のキャリアへの理解度・自己理解度・要素の変化

企業選びの7要素
事前用意した7要素
ドラッグ&ドロップで並び替え
要素の追加も可能

#	要素	Action
1	仕事の内容及び職種	削除
2	給与及び待遇	削除
3	ワークライフバランス及び休日	削除
4	成長及びスキルアップ	削除
5	会社のネームバリュー	削除
6	長期的な安定性	削除
7	転勤の可能性及び会社所在地	削除
		要素の追加



フィードバック
あなたが仕事の内容や職種を最優先に考えるという視点は素晴らしいです。自分が何をやるか自分の満足度やモチベーションに直結するため、これは非常に重要な視点です。また、給与や待遇、ワークライフバランスといった要素もバランス良く考慮している点は、あなたが自分のキャリアと生活の両方を大切にしていることを示しています。

音声入力
Whisper：音声認識
Speech Brain：感情認識

対話ボックス
質問：ユーザの価値観を揺さぶる質問（要素間の比較、理由など）
フィードバック：ユーザの発言への肯定的なFB

3. 対話フロー・アジェンダベース対話

メインプロンプト

あなたは就活生にキャリアアドバイスを提供し、自己分析を支援するプロです。ユーザ（学生）はUI上の7つの要素（～略～）に基づいて価値観を考慮します。（～略～）-あなたはユーザの回答に対してフィードバックと質問を行ってください。
-フィードバック:ユーザの意見や考えに対してポジティブなフィードバックを提供してください。（～略～）
-質問:価値観を揺るがす質問をすることで、ユーザの思考を深める手助けをしてください。価値観を揺るがす質問とは、その学生が自分の価値観を再評価し、深く理解するために彼ら自身が自分の意見や考えを問い直させるような質問のことです。（～略～）

優先順位付け	
#	要素
1	=====
2	給料
～	～
6	安定性
7	=====

価値観順位についての質問
“給料は高いが企業の成長性が少ない場合でもこの順位付けですか？”

夢(理想の姿)を聞き出す

夢を実現した後の価値観について

再度優先順位付け	
#	要素
1	安定性
2	=====
3	給料
～	～
7	=====

各アジェンダもプロンプトを持つ

価値観(優先順位)の**変化**を起こす
質問に対して主観的判断と理由(経験etc.)を答えることでより強固で理由付けされた価値観が形成される

4. アジェンダ間の遷移条件

現在のアジェンダ
ユーザの回答

主観的判断とその理由、経験が含まれる発言

“人を助ける仕事をしたいです。それは事故にあったときに助けて貰ったからです。”

次のアジェンダ

発言の分類分けに“Function Calling”を利用

Function Calling：
入力に適切な関数を用意された関数から選択するAPI

本システムで利用しているFunction Calling：

1. ユーザの発言分類（アジェンダ間）
+ 音声認識誤りのエラーキャッチ
2. 話題が大きく逸れた場合の検知
3. 感情ラベル毎の質問関数の選択（感情異常）

主観的判断のみが含まれる発言

“人を助ける仕事に就きたいと思っています。”

アジェンダは移動しない

理由を聞く質問

主観的判断も理由も含まれない発言

“人を助ける仕事って何だろう。”

主観的判断を聞く質問

5. 結果と考察（実際の順位変化・ユーザアンケート）

6. まとめ

1. 就活生の自己分析を支援するために**GPTベースの対話システム**を開発した
2. 企業選びの評価軸から**価値観を揺るがす質問**を生成しユーザの考えを顕在化した
3. 価値観を**実際に変化させることができ**、システムの効果が示唆された

#	要素	#	要素
・	・	・	・
5	会社のネームバリュー	7	休日及びワークライフバランス
・	・	・	・
7	休日及びワークライフバランス	5	会社のネームバリュー

質問内容(変化)	提案手法	ベースライン
今後の職業キャリアに自分なりの目標をもっている	+ 0.75 pt	+ 0.75 pt
今後のプライベートキャリアに自分なりの目標をもっている	+ 1.3 pt	+ 0.25 pt
質問内容 (7段階評価)		提案手法
システム利用後は価値観に新たな視点を得られた	6.25 pt	3.5 pt
システム利用後は考え方や意識に変化があった	5.8 pt	3.0 pt

- ・このユーザは対話の中で“子ども”という要素が生まれ、**順位が変動**したことがログから分かった
- ・このシステムはユーザに長期的なキャリアを考えさせ、より多角的に自身を見つめ直させることが分かった